



# 教育委員コラム

発行元  
弟子屈町教育委員会  
教育長 小林 俊夫  
職務代理 榎本 悦子  
委員 菅原 誓之  
委員 金井 秀明  
委員 吉田 一徳



北海道 弟子屈町  
Teshikaga Town

弟子屈町教育委員会

〒088-3292 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号 弟子屈町役場  
電話:015-482-2945 HP:<http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/>

## 教育委員リレーコラム

### 第56回北海道市町村教育委員研修会への参加

教育委員 金井 秀明

令和元年7月11日（木）に札幌市で開催された「第56回北海道市町村教育委員研修会」に参加してきました。全道144市町村から約700名の教育委員および教育委員会関係者の参加があり、会場となった札幌市教育文化会館はほぼ満席状態でした。北海道町村教育委員会連合会の本庄会長の開会挨拶があり、本年度の教育重点事項として、1.子供の安全の確保（通学路も含めて安全性の確保）2.いじめや不登校を無くす、3.新学習要綱への対応（特に来年度からの小学校での英語授業に関して）4.小中学校の一貫教育に関して（コミュニティスクールについて）の4点を挙げられていました。



続いての来賓祝辞でも、北海道教育委員会の鶴羽氏は、来年度からの小学校の英語教育を受けて、中学生の英語力の底上げ、特にコミュニケーション力不足の是正を訴えられていました。その後北海道市町村教育委員会連合会功労者表彰、令和2年度文教施策に対する要望事項の報告、最後に令和元年の決議を行い開会式が終わりました。

講演は「絵で見る北海道史」の演題で、道立近代美術館学芸統括官の五十嵐聡美氏の教授を受けました。松浦武四郎が蝦夷地を歩き、北海道地図を作成し、北海道と名付けたのは有名ですが、18世紀ごろから蝦夷地は掛け軸や屏風の題材として描かれていたそうです。絵を見ながらの説明で、表面からは見えない絵の鑑賞の仕方を教わりました。昔の絵は情報を伝える道具として使われ、プロパガンダやコマーシャルなどの一面を持っていたようです。蠣崎波響が描いた12人のアイヌの酋長「夷酋列像」は有名ですが、松前藩がアイヌの人々と友好的に、上手く治世を行っていますよ、との宣伝材料としても使用されたようです。また12人を描いたのではなく、何人かのポーズを変えての使いまわしも読み取れるそうです。「夷酋列像」は美術的にも一流ですが、絵によっては美術的には二流でも、歴史的資料としては一級の場合もあるそうです。また絵は一つの扉であって、その絵の奥に何を見るかが必要であるとの講話でした。

文部科学省の行政説明では「学校における働き方改革」について説明がありました。海外の学校では授業やその準備、成績処理など、教師が授業関係に費やす割合が70%なのに対して、日本の教師は43%が授業関係で、その他の業務が半分以上を占めているそうです。文部科学省の取り組みとして、

次のようなポイントを挙げています。「子供の為であればどんな長時間勤務も良しとする」という働き方で、それによって教師が疲弊しては、それは子供のためにならない。志ある教師が過労死に至ってしまうような事態は、本人はもとより、その遺族又は家族にとって計り知れない苦痛であるとともに、児童生徒や学校にとっても大きな損失である。働き方改革の実現により教師は魅力ある仕事で、教師を目指す者が増加し、教師自身も士気を高め、誇りを持って働くことは子供たちの教育の充実に不可欠である。以上のように答申しています。



次回リレーコラムは小林教育長です。



# 教育あっちこっち情報



## 運動会と自治会

教育委員 金井 秀明

今年の運動会は天候に恵まれず、7月20日に予定していた「第73回弟子屈中学校体育祭」も雨のため翌日に順延されました。

6月16日に美留和小学校で開催された「第103回美留和大運動会」も雨のため体育館での競技となりました。

広いグラウンドとは違い狭い体育館での開催なので、若干競技内容を変更し、徒競走も短い距離となりましたが、逆に目の前での競技なので、熱気あふれる運動会になりました。小学生の日ごろの練習の成果は遺憾なく発揮され、自治会の地域の皆様のパワーにも圧倒されました。小規模校は児童数が少ないのですが、代わりに地域の皆さんが児童を盛り立て、一緒に競技に参加し、思いで深い運動会を作り上げたと思います。今後も小学校と地域と共に支えあい、共存していく事が大切だと考えさせられました。



## 移動教育委員会

教育委員 菅原 誓之

教育委員会は必ず毎月1回は開催されます。しかし年に2回各学校を会場として、移動教育委員会も開催されます。日程としては、休み時間を利用して学校職員と教育委員会出席者の挨拶と自己紹介。その後学校の教室をお借りして、通常の教育委員会が行われ、その日の議案がすべて承認されれば閉会となります。それからは各教室を周り、授業を参観したり、学校の様子を拝見させていただきます。その後、校長・教頭・PTA役員と懇談会が行われ、学校の現状や要望を聞かせていただきます。お昼には学校給食を食べ、移動教育委員会が終了します。

去る6月26日の移動教育委員会は、奥春別小学校をお借りしました。



## 川湯小学校の地域参観日

職務代理 榎本 悦子

7月5日は川湯小学校の参観日でした。地域の方々にも学校に来てもらおうとの計らいで、何日も前からコンビニなどのお店に子供達が書いたポスターがはられていました。当日も給食の時間を除いて、午前・午後いつでも参観できるようにしていて、お母さん方も自分の都合に合わせて何度か出入りしたりしていました。子供達も常に人がいるので緊張し過ぎる感じは無く、のびのび発表したり楽しんで合唱していました。参観した友人は学校に行って元気を貰ったと言っていました。この自由な雰囲気色々な方々が学校行事を楽しみにするような地域になればと思います。また、放課後の学童保育が青少年会館から学校になり毎日学校に迎えに行くことで保護者の方々にとっても学校が近いものになったようです。



## 「弟子屈町公営塾」開講！進路選択拡大に期待！

教育長 小林 俊夫

7月26日から高栄会館を会場に弟子屈高校生を対象とした「弟子屈町公営塾」が開講しました。

午後4時から開講式を行い、多忙の中、吉備津副町長、町議会からは近江屋副議長、高橋文教厚生常任委員長、高砂同副委員長、宮崎弟子屈高校校長、高台自治会の勝呂会長の出席を頂き、同席した塾生となる弟高生に対し、激励の言葉を頂きました。また、塾の受託業者である(株)バース47から派遣された大山敦人塾長と加藤学講師が紹介され、塾生に熱いエールと決意を語ってくれました。

この塾は、学力向上を通して、弟子屈高校生の卒業後の進路選択幅の拡大を図り、将来の夢を実現させる第一歩にする場として、ひいては、ふるさと弟子屈町の人材育成に繋げていくことを目的に計画しました。

塾生は1年生から3年生まで39名が登録しており、この夏期講習を最後まで奮闘することを願っています。



## 柴田先生おめでとう！

教育委員 吉田一徳

7月14日に釧路で川湯小の柴田先生の結婚祝賀会があり、出席してきました。

柴田先生は弟子屈小時代に吹奏楽の顧問のときから、新婦は川上シンフォニアの仲間ということで2人とも仲良くさせていただき、結婚の話があった時はとてもうれしい気持ちでした。祝宴は川湯小学校長の中岡先生の祝辞があり、白糠町教育長の川島先生の乾杯で始まりました。終始ノリノリな宴で、柴田先生の眼がさらに細くなるくらい笑顔絶えないひと時でした。

午後1時から始まった宴もあっという間に2時間が過ぎ、気づけば深夜1時までおいしいお酒を頂きました。



## ★ ★ 編集後記 ★ ★

『弟子屈高校の魅力づくり』を合言葉に、弟子屈町公営塾が開講しました。

自分の苦手分野などを集中的に学べ、タブレットを使っての講習もあります。

夏休みの夏期講習、頑張り高校生！  
小学生・中学生も宿題忘れずに！

(菅原)